

CF-AX2, CF-B11, CF-NX2, CF-SX2 シリーズ  
( Windows 8 (64bit) )  
リカバリーディスク作成ユーティリティ V5.00L11 アップデート手順書

公開日 2013/02/14

本書では、上記機種を Windows 8 (64bit) でお使いのお客様のために、リカバリーディスク作成ユーティリティを V5.00L11 にアップデートし、作成済みのリカバリーディスクを検証する手順について説明します。

**【ご注意】**

- ・ リカバリーディスク作成ユーティリティのインストールプログラムを実行する際は、必ず「**コンピューターの管理者**」の権限のユーザーでログオンしてください。(ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにコンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。)

**【お願い】**

リカバリーディスク作成ユーティリティのインストールを行う際には、以下の事項をお守りください。

- ・ AC アダプター、および十分に充電されたバッテリーパックを接続しておいてください。
- ・ USB 機器、PC カード等の周辺機器はすべて外してください。
- ・ リカバリーディスク作成ユーティリティインストールプログラム以外のアプリケーションソフトはすべて終了してください。

**【リカバリーディスクの検証方法】**

作成済みのリカバリーディスクの検証は下記の流れで行います。

1. リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョン確認
2. アップデートプログラムのダウンロードと展開
3. 旧バージョンのソフトウェアのアンインストール
4. 新バージョンのソフトウェアのインストール
5. リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョン確認
6. リカバリーディスク作成ユーティリティの実行

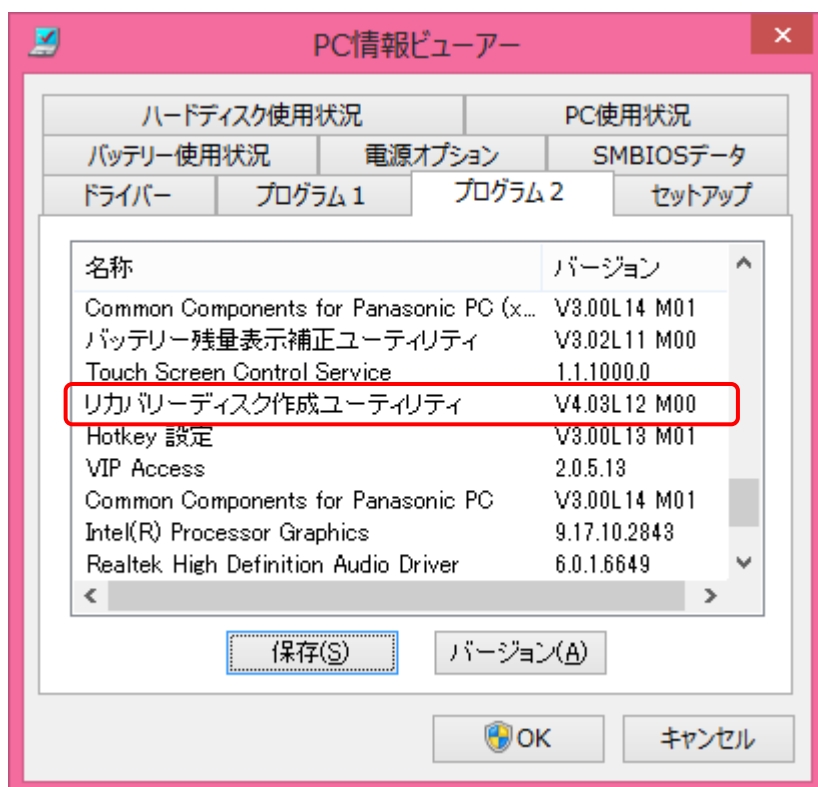
## 1. リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョン確認

リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョンは、下記の手順で確認します。

- (1) PC 情報ビューアーを起動します。

スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリックして、「Panasonic」メニューの[PC 情報ビューアー]をクリックします。

- (2) [プログラム 2]をクリックし、「リカバリーディスク作成ユーティリティ」のバージョンを確認します。



- (3) リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョンが下記のバージョンになっている場合は、アップデートする必要はありません。

V5.00L11 M00

## 2. アップデートプログラムのダウンロードと展開

リカバリーディスク作成ユーティリティをインストールするためには、まずダウンロードページに掲載されているプログラムをダウンロードした後、対象機種の Windows 上で実行し、展開先フォルダにファイルを展開します。

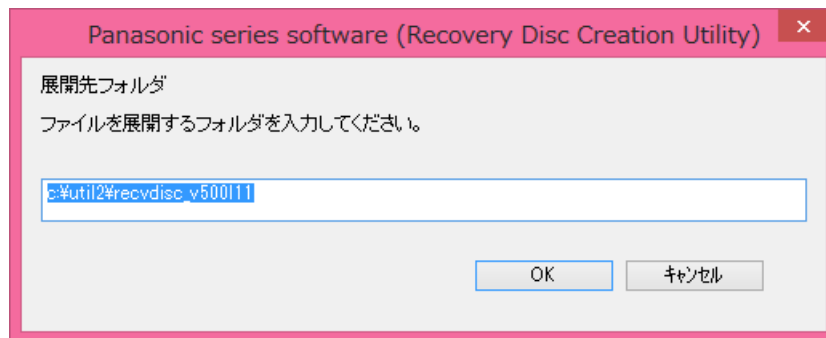
掲載されているプログラム：

**recvdisc\_v5.00111m00\_d134205.exe**

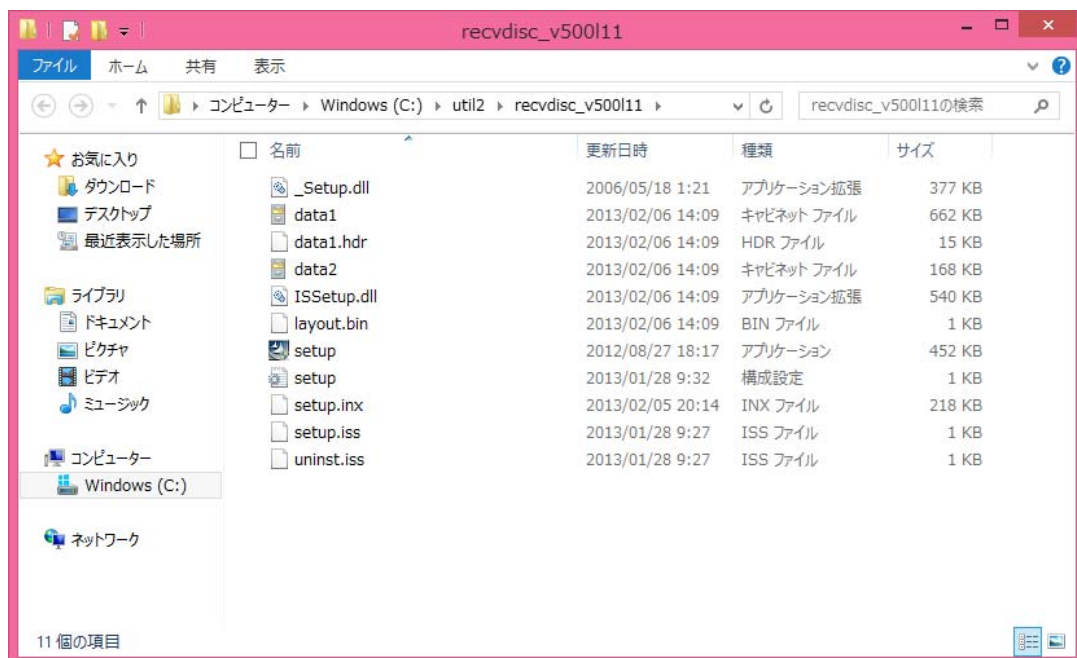
- (1) ダウンロードしたプログラムをダブルクリックして実行します。
- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。
- (3) 使用許諾契約の画面が表示されますので、内容をよくお読みいただき、「はい」をクリックしてください。



- (4) 展開先フォルダを設定する画面が表示されます。展開先フォルダは、プログラムが自動的に作成しますので、特に変更する必要はありません。(変更する場合は、必ず、本体のハードディスク上のフォルダを指定してください。展開先フォルダは標準では「c:\util2\recvdisc\_v500l11」が設定されています。)「OK」をクリックしてください。



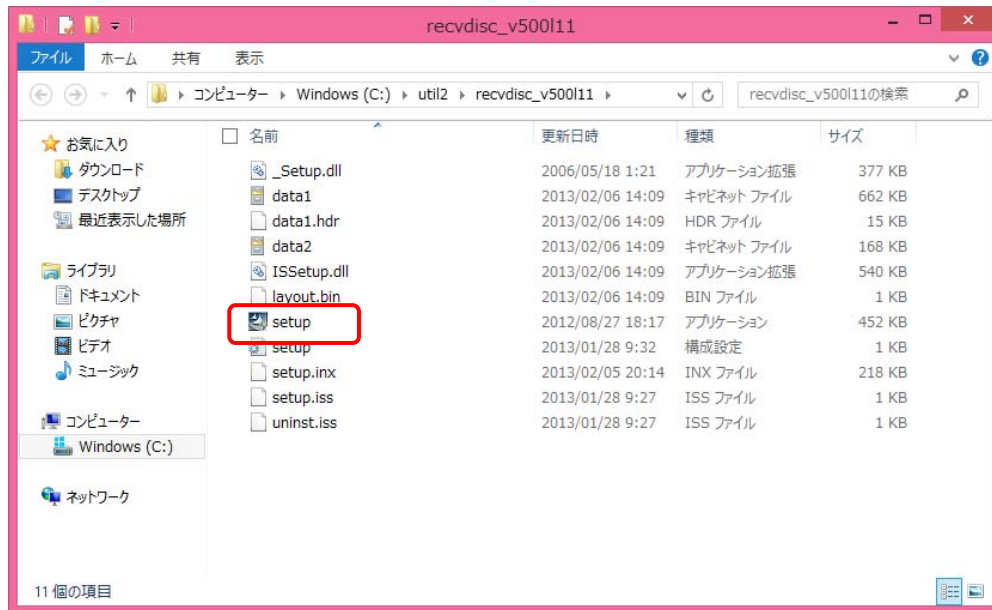
- (5) しばらくして展開が完了すると、展開先フォルダが開きます。



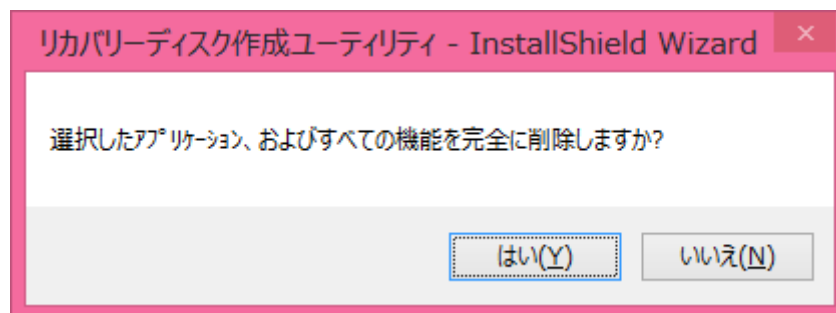
### 3. 旧バージョンのソフトウェアのアンインストール

以下の手順にしたがって、リカバリーディスク作成ユーティリティをアンインストールしてください。

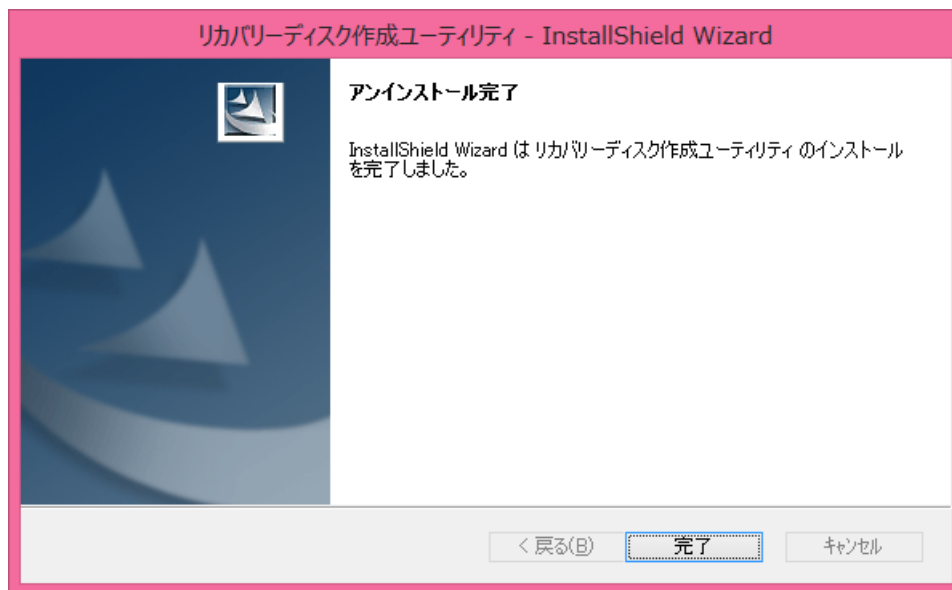
- (1) 【2. アップデートプログラムのダウンロードと展開】で展開した展開先フォルダー（標準では c:\util2\recvdisc\_v500l11）内の setup（拡張子付きでファイル名表示の場合は setup.exe）をダブルクリックします。setup という名前が 2 つ以上ある場合は、[種類] に [アプリケーション] と表示されているファイルをダブルクリックしてください。



- (1) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。
- (2) アプリケーションの削除を確認する画面で「はい」をクリックします。

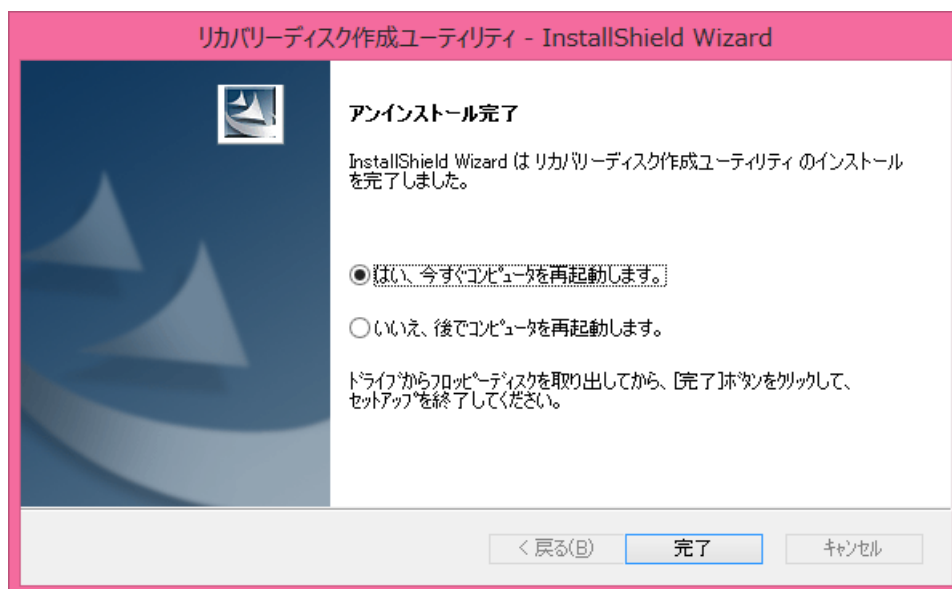


- (3) しばらくすると、「アンインストール完了」画面が表示されますので、[完了]をクリックします。



- ※ 上記の画面ではなく以下の画面が表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]を選択してください。コンピューターが自動的に再起動されます。

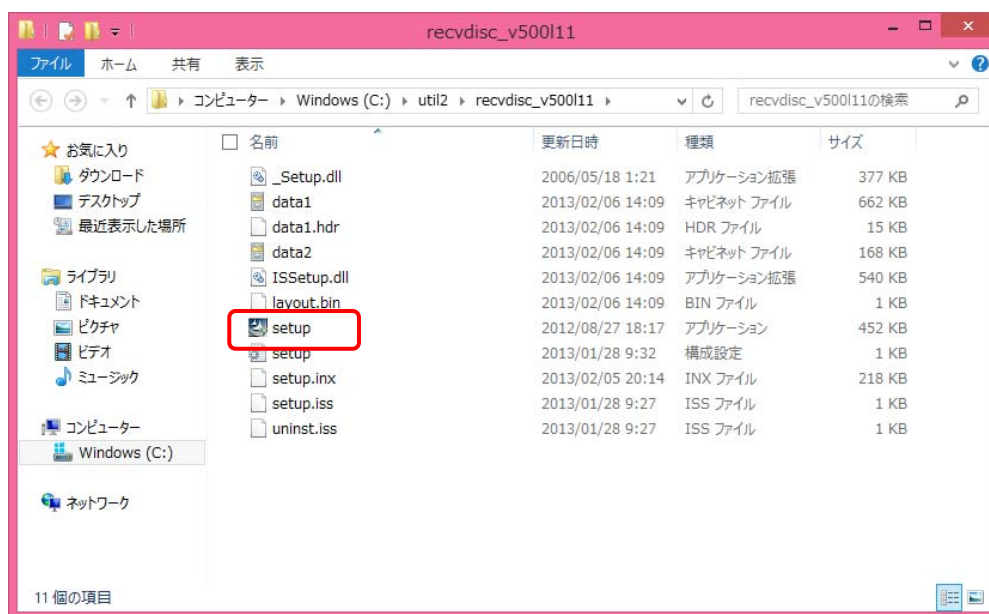
(「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択された場合は、必ずコンピューターの再起動をした上で、次の手順にすすんでください。)



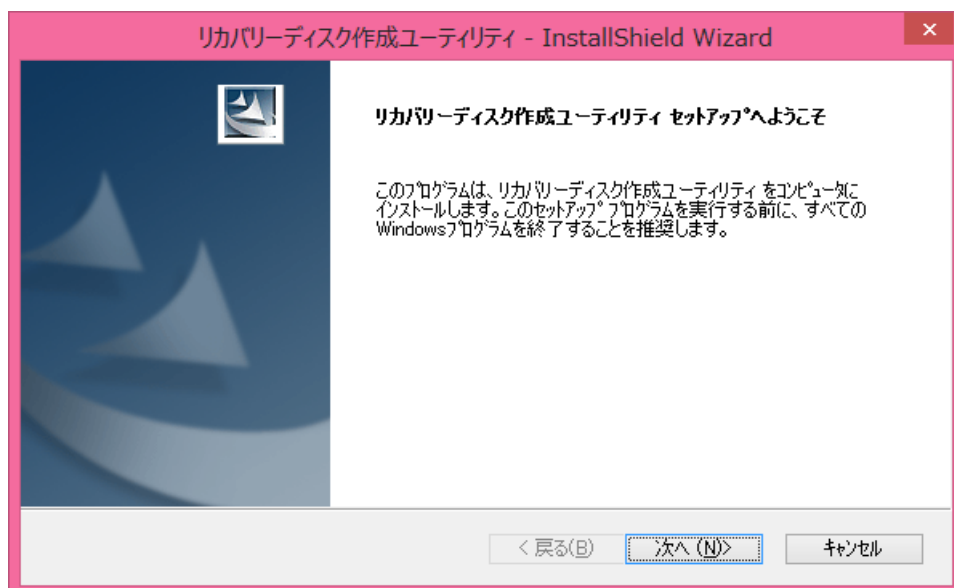
## 4. 新バージョンのソフトウェアのインストール

以下の手順にしたがって、リカバリーディスク作成ユーティリティをインストールしてください。

- (2) 【2. アップデートプログラムのダウンロードと展開】で展開した展開先フォルダー（標準では c:\util2\recvdisc\_v500l11）内の setup（拡張子付きでファイル名表示の場合は setup.exe）をダブルクリックします。setup という名前が 2 つ以上ある場合は、[種類] に [アプリケーション] と表示されているファイルをダブルクリックしてください。

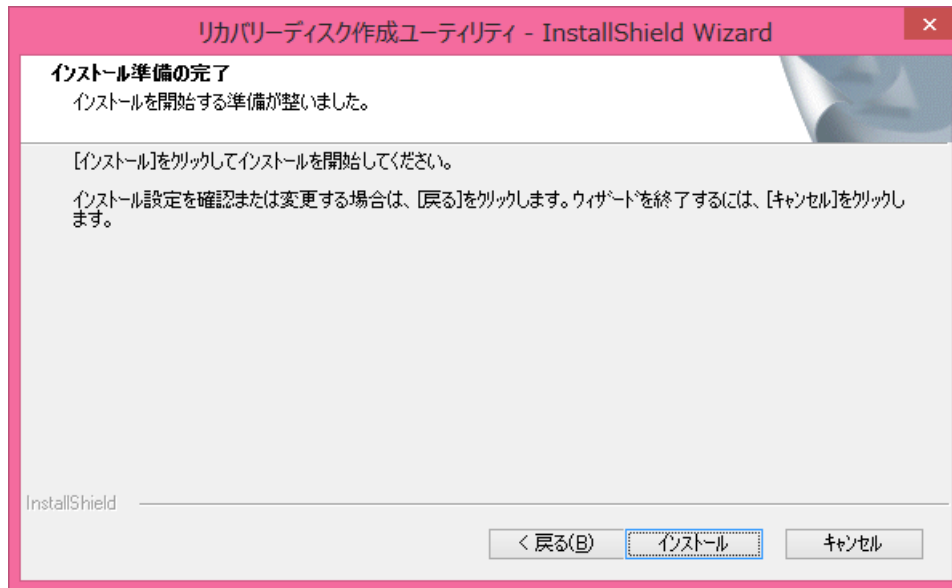


- (3) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。
- (4) 「リカバリーディスク作成ユーティリティ セットアップへようこそ」画面で「次へ」をクリックします。

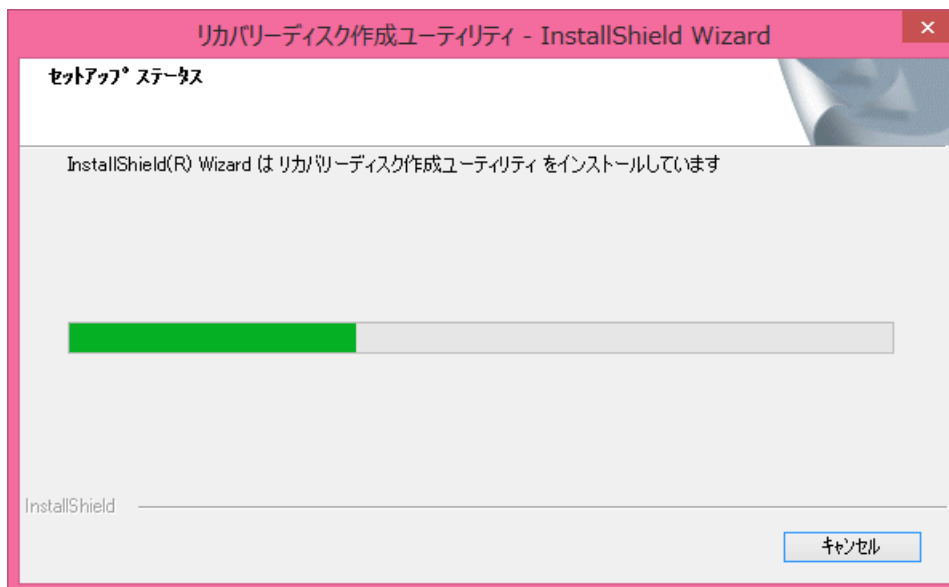




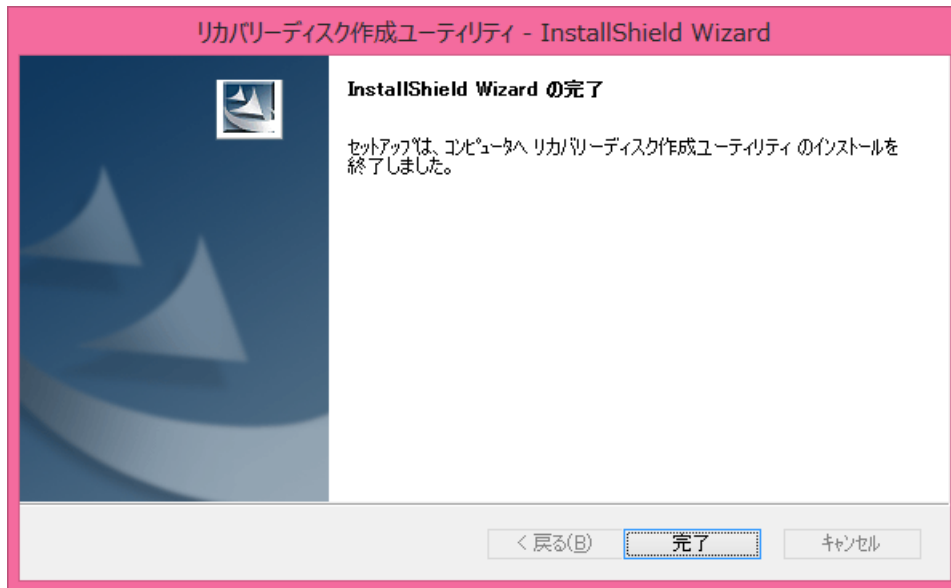
- (5) 「インストール準備の完了」画面で「インストール」をクリックします。



- (6) 「セットアップステータス」画面が表示されます。しばらくそのままお待ちください。



- (7) 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されますので、[完了] をクリックします。



- (8) コンピューターを再起動します。

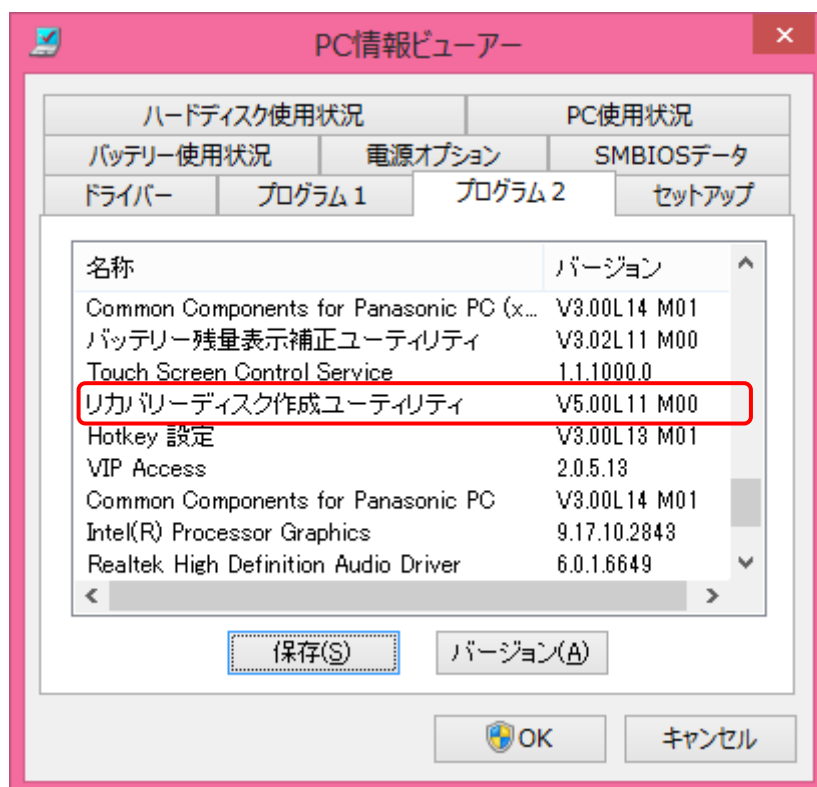
## 5. リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョン確認

リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョンは、下記の手順で確認します。

- (1) PC 情報ビューアーを起動します。

スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリックして、「Panasonic」メニューの[PC 情報ビューアー]をクリックします。

- (2) [プログラム 2]をクリックし、「リカバリーディスク作成ユーティリティ」のバージョンを確認します。



- (3) リカバリーディスク作成ユーティリティのバージョンが下記のバージョンになっている場合は、アップデートする必要はありません。

V5.00L11 M00

## 6. リカバリーディスク作成ユーティリティの実行

リカバリーディスクを作成済みの場合、リカバリーディスク作成ユーティリティを実行して、リカバリーディスクが正しく作成できているか検証します。

リカバリーディスクをまだ作成していない場合、以下の手順は不要です。

※ USB メモリーにリカバリーを作成した場合は、下記手順の「リカバリーディスク」を「リカバリー専用 USB メモリー」と読み替えてください。

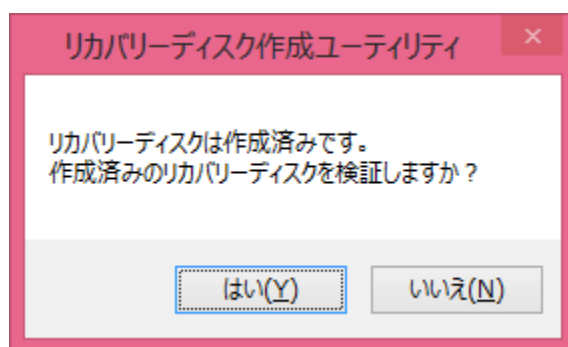
※ リカバリーディスクの検証には、リカバリーディスク作成時と同程度の時間がかかることがあります。十分な時間がある時に以下の手順を実行してください。

(1) リカバリーディスク作成ユーティリティを起動します。

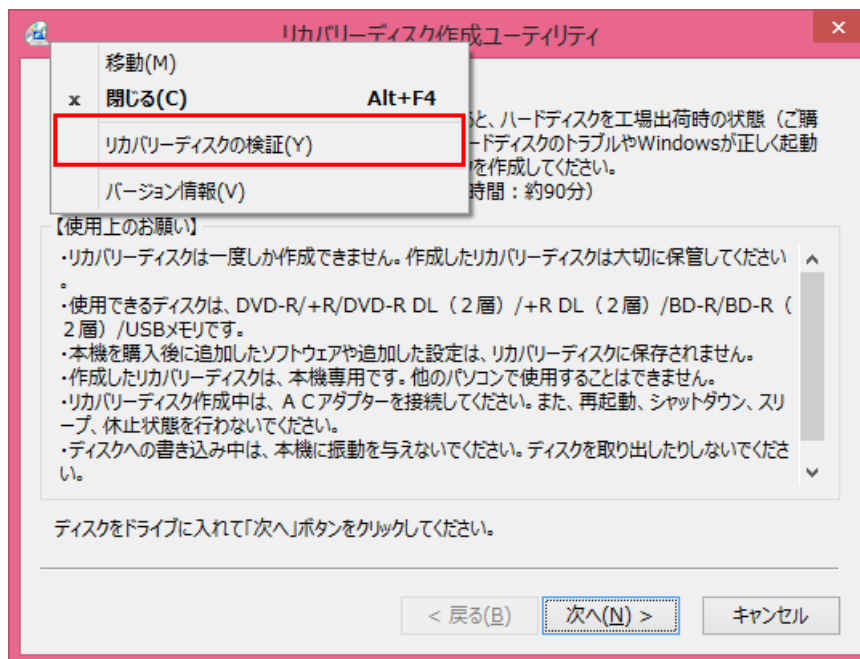
スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリックして、「Panasonic」メニューの[リカバリーディスク作成ユーティリティ]をクリックします。

(2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[はい]をクリックします。

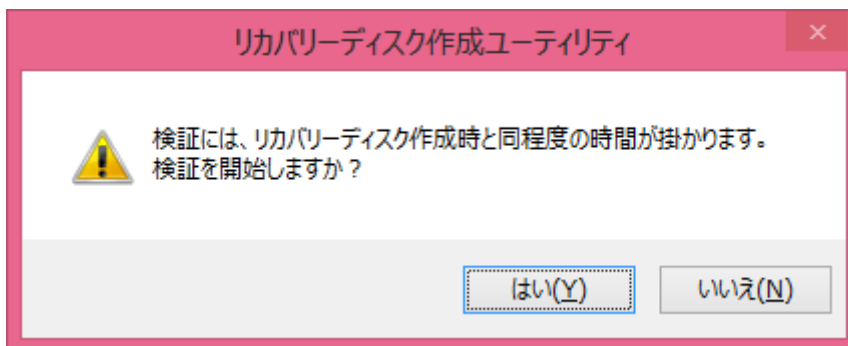
(3) 「検証しますか？」の画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。



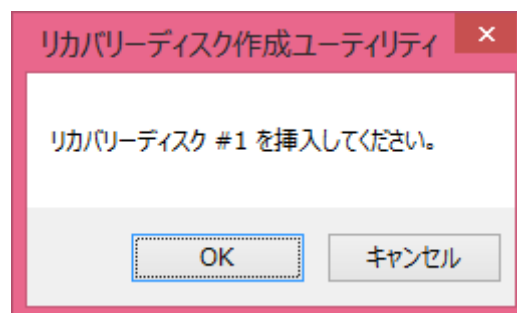
- ※ リカバリーディスクを作成後、既にハードディスクなどからリカバリーを行っていた場合、「検証しますか？」の画面ではなく、以下のような画面が表示されます。この画面が表示された場合、画面左上のアイコンをクリックし、「リカバリーディスクの検証」を選択してください。



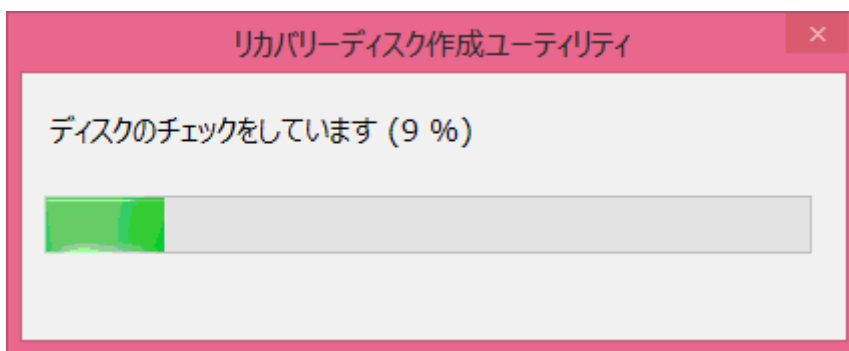
- (4) 「検証を開始しますか？」の画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。



- (5) 「リカバリーディスク#1 を挿入してください」の画面が表示されますので、作成したリカバリーディスクの1枚目を挿入し、[OK]をクリックしてください。誤ったディスクを挿入した場合は、再度この画面が表示されます。



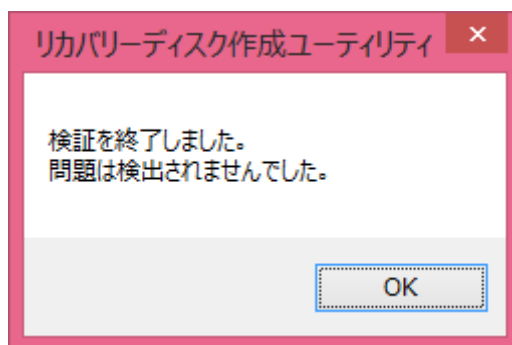
- (6) 正しいディスクを挿入し[OK]をクリックすると、「ディスクのチェックをしています」の画面が表示されますので、しばらくそのままお待ちください。



- (7) 2枚目以降のリカバリーディスクがある場合、再度(5)と同様の画面が表示されますので、指定されたディスクを挿入し、[OK]をクリックしてください。

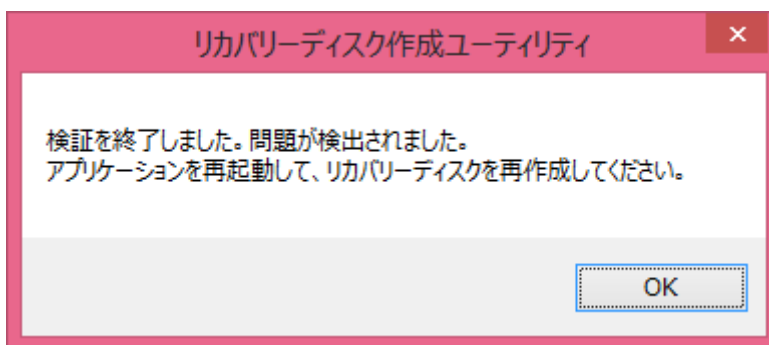
- (8) すべてのディスクの検証が終了すると、「検証を終了しました」の画面が表示されますので、[OK]をクリックしてください。

この画面が表示された場合、リカバリーディスクはそのままご利用いただけます。



※ 上記の画面ではなく、以下の画面が表示された場合、作成済みのリカバリーディスクはご利用いただけません。

大変申し訳ありませんが、作成済みのリカバリーディスクは、リカバリーには使用せず、リカバリーディスクを再作成してください。



以上